

加古川市の子どもたちの学力を伸ばすためには…

「生活」「食」「読書」「学習」の4つの習慣づくりが大切です。

「子どもがもっと、やる気になって勉強するにはどうしたらよいのだろうか？」これは、多くの保護者の皆様が子育てにおいて持たれる大きな疑問の一つではないでしょうか。

子どもたちの学力を伸ばす「もと」になるものは、「なぜだろう？」「どうしてこうなるのだろうか？」という「素朴な疑問」に基づき、「調べてみよう！」「やってみよう！」と興味・関心や意欲、すなわち「知的好奇心」をもって探究しようとする態度です。

そのためには、子どもたちの「やる気」のもとになる「気力」や「体力」を育てていかななくてはなりません。そして、子どもたちの学力を伸ばすために必要な「気力」や「体力」の基礎づくりができる最良の場は、家庭なのです。

まずは、「生活習慣」、「食習慣」の習慣づくりが大切です。

「生活習慣」(気力)

—規則正しい生活リズムを—
「あいさつ」から始め、「身の回りの整理整頓」や「手伝いや家事の分担」、「生活のリズム」など、メリハリのある生活習慣は、子どもたちの心をたくましくし、気力を高めます。

「食習慣」(体力)

—バランスのよい食事と適度な運動を—
規則正しく、バランスの良い食事の習慣と、毎日の適度な運動は、基礎体力をつけ、体を丈夫にします。

さらには、「読書習慣」、「学習習慣」の習慣づくりを図りましょう。

「読書習慣」

—いろいろなジャンルの読書を—
幼い頃から親子で一緒に絵本を読んだり、見て語ったりすることは、子どもの感性や豊かな心を育てる読書習慣へとつながります。
いろいろなジャンルの読書に親しむことは、子どもに夢とロマンのある豊かなイメージの世界を作りあげていきます。

「学習習慣」

—毎日の家庭学習を大切に—
家庭では、学習習慣を身につけるような環境づくりから始めることが大切です。大人に見守られている安心感の中で、学習習慣を身につけていくと、学年が進むにつれて、自学自習の習慣が身につけてきます。子どもを見守り、励まし、相談に乗りつつ、支援することが大切です。

平成19年度から実施されている「全国学力・学習状況調査」を分析した結果においても、「生活習慣」「食習慣」「学習習慣」「読書習慣」の4つの習慣や、規範意識を身につけた子どもたちは、平均正答率も高いことが確認されています。ですから、この4つの習慣づくりを進めていくことが大切なのです。

そこで、各家庭の事情に合わせて、4つの習慣化を目指すために役立つ学習のポイントや、家庭での約束を作るためのアドバイス等を集めて、「加古川の子どもたちの学びや育ちをつなぐ家庭学習の手引き」を作成しました。

家庭学習の意義（4つの習慣を身につけさせる）

① 学習内容の定着

学校で学習したことを、家庭で復習することにより定着を図ることができます。学校で体験したこと、わかったことなどを、反復練習して身につけることが、「やればできる」という自信を持つことにもつながります。

② 学ぶ習慣をつける

毎日、家庭学習を続けることによって、自ら進んで学ぶ習慣が身につきます。低学年のうちから、毎日、少しずつでも継続することが、大きな力につながります。

③ がまん強さ・根気・集中力をつける

テレビやゲーム、ケータイのメールなどの誘惑に打ち勝って、家庭学習をすることで、がまん強さ、根気、集中力などを養うことができます。学習や読書などの時間をしっかり確保していくためには、テレビを見る時間を決める、みんなで読書するといった家族の協力が必要になります。

④ 家族のふれあい

「お手伝いをしている時、見守ってあげる」「本を読んでいる時、横で聞いてあげる」など、家庭学習をしている子どもに家族が関わることにより、コミュニケーションが図れます。家族のふれあいの機会が増えることは、子どもの精神の安定につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。

家庭学習のポイント

① 決まった時間に、毎日こつこつする

家庭学習は、毎日続けることが大切です。習い事やお出かけなどで、予定が組みにくい日もあるでしょうが、その場合は、先に済ませたり、テレビやゲームをひかえたりして、時間を生み出すことも必要になります。家族で十分に話し合しましょう。

② 集中して学習する

学力を伸ばすためには、集中して学習に取り組むことが大切です。長時間学習することで成果が上がるとは言えません。短時間でも集中して学習することが、長続きのコツです。

③ 学習環境を整える

子どもが集中して学習に取り組むためには、「テレビを見ながら」などの「ながら学習」や、マンガやゲームなどがすぐに手の届くところにあるような環境を、考え直す必要があります。見たい番組は録画する、勉強前に机や周辺を整理整頓するなどの工夫をして、子どもが落ち着いて学習に集中できる環境づくりをしましょう。

④ 子どものがんばりを認め、ほめて励ます

家族や教師が、子どものがんばりを認め、ほめたり励ましたりすることにより、子どもには自信が付き、進んで学習しようとする意欲が高まります。ついつい大人は口うるさくなりがちですが、強制したり、間違いをきつく叱ったりすることは、逆効果になることもあります。